

小論文

注 意

- 1 問題は3ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は50分で、終わりは午後0時30分です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に横書きで明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決めた欄に書きなさい。
(受検番号の上3けたは印刷してあります。)

令和7年度

東京都立小金井北高等学校

問題 次の資料を読み取り、あとの問いに答えなさい。

資料 1 オーバーツーリズムの定義

観光地やその観光地に暮らす住民の生活の質、あるいは訪れる旅行者の体験の質に対して、観光が過度に与えるネガティブな影響のこと。

〔オーバーツーリズムの未然防止・抑制に関する関係省庁対策会議〕〔第1回〕観光庁資料 2023 年 9 月 6 日〕

資料 2 オーバーツーリズムの都内の事例①

「渋谷で『路上飲酒禁止』条例成立」

観光客や若者でにぎわう東京・渋谷で、路上飲酒が横行し、問題となっている。空き缶のポイ捨てや騒音などの迷惑行為は後を絶たない。区はこれまでハロウィンと年末年始に限っていた路上飲酒の禁止期間を今年 10 月から通年とし、対象エリアを拡大する条例を制定。マナー向上を呼びかけている商店街の関係者らは「年々マナーが悪化している」と怒りを募らせている。

〔産経新聞〕2024 年 7 月 4 日付〕

資料 3 オーバーツーリズムの都内の事例②

「N01 路上飲酒 環境悪化、渋谷で禁止」

パトロール隊員^ミは巡回開始早々、道端の植栽を覆うコンクリートの端に腰掛け、缶入りのハイボールを飲むカッパルを見つけた。周辺一帯で路上飲酒が禁止されていることを説明する地図を示しながら、飲酒をやめるよう説得する。2 人から酒の残った缶を受け取ると、中身を捨てて、用意しておいた大きなビニール袋に放り込んだ。指導を受けたカッパルはともに 32 歳で、アメリカのワシントン州シアトルから観光に訪れていた。飲酒していた女性^ミは「アメリカでは路上飲酒は禁止だが、日本なら飲めると友人から聞いた」と打ち明けた。条例のことは知らなかったと言い、残念そうに「日本中で路上飲酒ができなくなるのか?」と筆者に尋ねてきた。

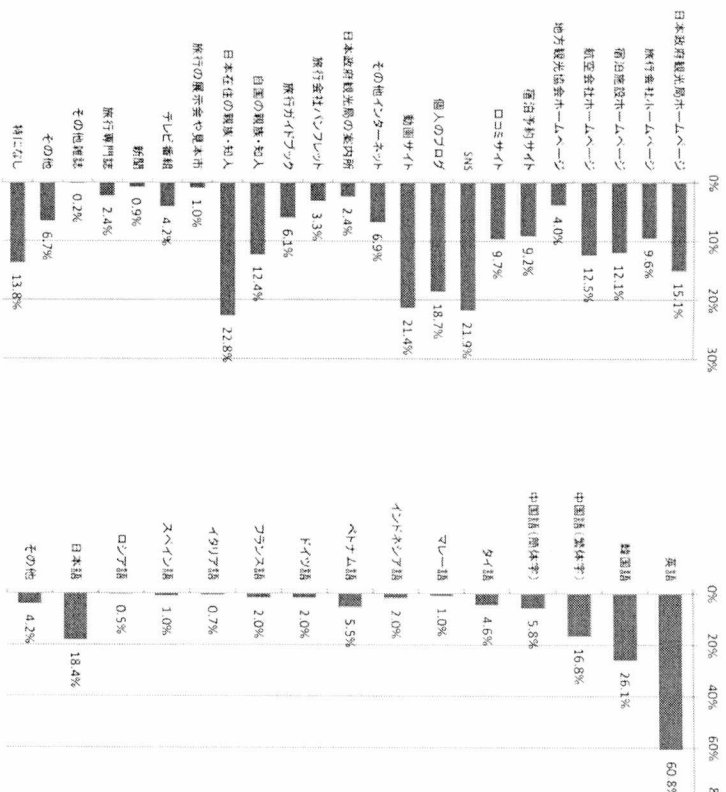
〔nippon.com 2024 年 10 月 18 日記信記事より作成〕

〔注 1〕パトロール隊員…「路上飲酒禁止条例」に基づいて路上飲酒を取り締まるために渋谷区から依頼を受けたパトロール隊員のこと。この記事の筆者は、パトロール隊員に同行し、路上飲酒

をしている人にインタビューを行った。

資料 4 外国人観光客が来日前に情報源としたもの

出発前に役に立った旅行情報源



〔観光庁「訪日外国人の消費動向 訪日外国人消費動向調査結果及び分析 2022 年 年次報告書」〕

資料 5 東京都の観光産業振興基本方針

観光需要がようやく復活し、2025 年に世界陸上やデジタルコンテンツ^{注2}という国際的なイベントが開催される局面を捉え、観光客を世界中から積極的に呼び込み、観光消費を拡大することは、活力あふれる東京へと発展していく上で重要である。

一方、観光を将来にわたり持続可能なものとするためには、経済の活性化や自然環境等の保全、住民と旅行者の良好な関係づくりなど様々な面でバランスの取れた観光振興が重要であり、旅行者が集中する地域での住民生活等への影響、いわゆるオーバーツーリズムへの対策なども必要となる。

また、言うまでもなく観光は、多くの民間事業者によって支えられている。宿泊業における人材不足をはじめとした観光産業の課題への対策を講じ、観光産業の一層の成長に向けた道筋を確固たるものとしなければならぬ。

以上の認識を踏まえ、次の3つを基本的な方針として観光施策を展開することにより、東京の観光都市としての国際競争力を強化し、「PRIME 観光都市・東京」を実現していく。

- 復活した観光需要の積極的な取り込み
- 観光における持続可能性の確保
- 観光産業の基盤の強靱化^{注3}

〔東京都観光産業振興実行プラン 2024-2026 より作成〕

〔注 2〕デジタルコンテンツ…聴覚障がいのある人を対象とした国際総合スポーツ競技大会。

〔注 3〕強靱化…しなやかで強くすること。

資料 6 東京都が掲げる6つの重点項目と3年後の目指す姿

重点項目	3年後の目指す姿	
1. 「食」の魅力の強化	・東京が有する多様な食の魅力が世界の各地域で広く認知され、旅行者が東京を訪れる一層強力な誘因となっている。 ・飲食店の多言語対応が一層進み、外国人旅行者にとっての利便性が向上するとともに、ムスリム等多様な文化・習慣を持つ旅行者が、食の面でも安心して東京観光を楽しむめる環境が整っている。	
2. 文化資源の活用促進	・地域の特徴ある文化資源を活用した観光振興が一層活性化し、旅行者に、その地域ならではの魅力的な文化体験が提供されている。 ・東京の魅力ある観光資源である伝統芸能・伝統工芸、歴史的建造物等の文化財が適切に保存・活用されている。 ・都内のアニメの名所の周遊が人気の観光ルートとなっている。 ・プロシエラジョンズやビッグバンが都内各地で面的に展開され、東京の夜を象徴するキラークンテンツとなっている。 ・夜間の時間帯に地域の特色をいかした催しなどが豊富に提供されることで、親子連れの観光客なども安心してナイトタイム観光を楽しみ、消費の拡大と観光需要の分散に寄与している。	
3. ナイトタイム観光の促進	・多摩・島しょ地域において、自然や文化など地域固有の資源をいかした多様なコンテンツの開発や観光施設・宿泊施設の整備等により、一層の誘客が進んでいる。 ・多摩・島しょ地域の豊かな自然やサステナビリティを重視した観光が、東京の観光のイメージとして世界に広く認知されている。 ・障がい者や高齢者等が積極的に外出し、様々な交通機関を快適に利用しながら旅行などを楽しめる環境の整備が一層進んでいる。 ・初めて東京を訪れる観光客でも快適に東京観光を楽しむことができるよう、観光情報センタ―での情報発信や観光ホランティエによる案内など、観光客への案内・サポート機能が向上している。	
4. 多摩・島しょ地域の観光振興	・三エスを提えた新しいテーマ・スタイルのツアーが東京で提供されている。 ・これまで観光資源とはみなされなかったコンテンツやサービス等に新たな可能性が見いだされ、観光に活用されるようになっていく。	
5. より快適な観光を実現するための環境整備		
6. 新たな観光テーマの開拓		

(注4) 島しょ…ここでは東京都の島々のこと。

(東京都観光産業振興実行プラン 2024-2026 より作成)

- 【問1】 あなたはオーバーツーリズムが起きる原因は何であると考えますか。 資料 1～4 を読んで、100 字以内で答えなさい。
- 【問2】 東京都の魅力を海外に向けて発信していく際に、あなたならばどのような点に力を入れますか。
- 資料 5 と資料 6 を用いて、以下の条件に従って 500 字以内で書きなさい。
- (1) あなたが力を入れるべきと考えた項目を資料 6 から 1 つ選び、選んだ番号 (1～6) を解答欄の所定の位置に書きなさい。
- (2) 全体を2段落または3段落構成にしなさい。
- (3) (1) で選んだ理由を第1段落に書きなさい。
- (4) どのような活動を通じて魅力を発信していくか、具体的な活動内容をオーバーツーリズムの対策も含めて書きなさい。

解答用紙記入上の注意 (問1・問2 共通)

- 1 読みやすくていいかな字で書きなさい。
- 2 表題や氏名は記入せず、直接本文から書き始めなさい。
- 3 句読点「」、「。」「かぎ」「」は、それぞれ1字に数えなさい。
- また、下の【例】のように、英数字は半角(1マスに2文字)扱いとして書きなさい。

【例】

1	08	00	21	%	51	.	3	mm	0	.	6	℃
SD	Gs	目	標	12	「							

問題は以上です。

問題は次のページから始まります。